

## 令和7年度第2回奄美市総合教育会議

日 時：令和8年2月24日（火）10：10～11：10

場 所：奄美市役所本庁舎6階中会議室

出席委員：（市長部局）安田 壮平 市長  
（教育委員会）向 美芳 教育長  
恵上 イサ子 教育長職務代理者  
西 正和 教育委員  
荒田 朋寿 教育委員  
和田 良子 教育委員

傍 聴 人：2人

### 議 事 録

#### ○市長あいさつ

皆様おはようございます。安田でございます。向教育長，そして教育委員の皆様におかれましては，公私共にご多用の中，今年度第2回目の総合教育会議にご出席いただきまして，心より感謝申し上げます。また日頃より，本市教育行政の推進に多大なるご理解とご支援を賜っておりますことに重ねて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて，昨年11月の第1回目の会議では，不登校対策と教育大綱について情報を共有し，意見交換をさせていただきました。不登校対策につきましては，校内教育支援センター，不登校対策推進協議会，心の健康観察の取組についてご紹介いただき，様々な取組を着実に進めていることを認識したところであります。このような取組を福祉部門とも連携・共有し，島の宝のこどもたち，困っている保護者の方々に様々な角度から支援を行うということをしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

先般，新年度予算を発表させていただきましたけれども，その中で新年度の大きな目玉の事業の1つとして，小・中学校の給食費無償化をですね，国，県の支援を得て実現をさせていきたいと思っております。また，教育関係も様々な新しい取組，ICT支援員の配置などを含めてやっていきたいと思っておりますし，世界自然遺産課の予算になりますけれども，小学6年生を対象にですね島の自然，歴史，文化を体験していただくプログラムなどを実行・実現していきたいなというふうに思っております。子育て支援，そして教育に更に力を入れて，しあわせの島というビジョンを目指して参りたいと思っておりますので，引き続きお力添えを賜りますよう

お願い申し上げます。本日は、令和8年度からの教育大綱の改定案について協議事項といたしましたので、改定案の新しい取組などについて意見交換をさせていただければと存じます。結びになります。本日限りある時間でございますが、皆様方の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。そして年度末に向かう中でお忙しい日々が続くと思っておりますけれども、皆様のご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。開催に当たっての挨拶といたします。本日はよろしく願いいたします。

### ○協議事項「教育大綱について」

(教育総務課説明)

資料に沿って説明

協議資料「奄美市第3期教育振興基本計画」  
「奄美市教育大綱(案)」

### ○質疑応答・意見

(教育委員)

感想を含めてですが、この資料をいただいて、比較をしたときにとても感動を覚えました。最初の市長の挨拶の中に、「感性の教育」と「耐性の教育」を融合した心の教育を推進してまいりますと、このことがやっぱり私たち現場も含めたこれからの教育の原点になるんじゃないかなと思って、この文言が入ったことに対してすごい感動を覚えた一人でした。それと、1ページの大綱策定の趣旨の中に、今まで入ってなかった、「首長と教育委員会が同じ認識を持ち」という言葉に、国の考えがあり、それを県が受け、市が受け、各学校にというこの流れがこの言葉で証明できたかなと嬉しく思ったんです。こういうことを踏まえた上で、令和8年度から5年間かけて、奄美市のこどもたちが、きっとこの趣旨に沿った教育がなされていく中で、成長していただろうなと思って心がほっとしました。今の説明もすごくわかりやすく、良い総合教育会議になるのかなと思っています。

(教育委員)

地域に根ざしたふるさと教育ということで、各学校が各地区でいろんな取組をしているのを見させていただきました。その中で感じていたのが、各地域にある伝統・文化の形に目がいきがちになっているのかなと心の中で思っていたのですが、ちょうど先週、地域の行事さばくりがあって、その中で出た話が、伝統・文化も大事なんだけど、その伝統・文化のある地域の中で生きている人たちがどう思うか、という思いで、どういう考えで過ごしているのか、そこにふれるのが一番の学び

だよねという話が出て自分もはっと思ったところです。今回この大綱の中に、人との繋がりを深く感じるということ、その地域の形だけじゃなくそこに生きる人たちも大事にしていかなければという文言も出ていて、自分の気持ちもここに表れていたのが良いなと思ったんです。各学校も人材バンクとかもあるはずなので、こういう人たちとの繋がりを持てるように教育現場でも進めていければ、より学びができると思うので、そのへんも頑張ってもらいたいなと感じたところです。

(教育委員)

今、いろいろ説明がございました基本目標と施策の関連、あるいは今後5年間に取組む施策、また、本市の教育施策の基本的な方向性とかいろいろ説明がございました。奄美市第3期教育振興基本計画にこれから取組むべき内容が具体的に記載されていて、非常にわかりやすいなと感じました。あと、学校、家庭、地域との連携、あるいはそれぞれ関係機関との連携、そういったものを推進しながら、基本的な目標が達成されるようにそれぞれ取り組むことが必要かなというのを強く感じました。

(教育委員)

とても分かりやすく、これからの教育に関して明るい未来を感じたところでした。この「地域で教え 地域に学ぶ 学びの循環」というところで、郷土への誇り、伝統を引き継ぐといった島ならではのものをできればなと思います。

(教育長)

これからの年間の計画ですけども、着実に進めるために進捗を見ながら、確認しながら進められれば良いなと思います。さきほどありましたように、シビックプライドですね、誇りというんですかね、誇りを持たせるための教育はどうあるべきなのかということで、親の後ろ姿、地域の人たちや人材活用も含めてですね、教育大綱はある意味、こどもたちも見ていますけど大人たちへの教育にもなるんじゃないかと思います。

(市長)

まず、この奄美市第3期教育振興基本計画と教育大綱が前期のもの比べて、大分変わったなど、根本的な部分がですね、変わったというかすごくバージョンアップされたなど。計画でいう第3章の部分、基本理念とか基本目標などですね、先ほどおっしゃられていた「感性の教育」+「耐性の教育」=「心の教育」、これは、たびたび教育長がおっしゃっている言葉かなと思っていて、こういった観

点が大事な時代なのかなというふうに思っています。あと、郷土愛やアイデンティティを育む教育というところがですね、将来、子どもたちが奄美に帰ってきてほしいなど、たとえ帰って来なくてもふるさとを大事にしてほしいなどというふうに思いますので、そこを明記していきたいというのは、非常にあったなと思いますし、それから学びの循環というところも非常に大事な観点かなと思うところでもあります。あと、今後5年間で取り組む施策もですね、(3)においてはですね、これは教師の皆様、先生方にとってもですね、大事かなと思います。子ども達だけでなく、同時に先生方も仕事を通じてしあわせになっていただくというのが大事かなというふうに思ったところでもあります。素晴らしい大綱、素晴らしい計画なんじゃないかなと思います。

少し気になったところを申し上げさせていただきますが、大綱の5ページ目ですね、教育の基本方針、ここだけ「地域に根ざしたふるさと教育」と読むのかなと思って、「<sup>ちいき</sup>地域に根ざしたふるさと教育」にしたら良いのではないかなと、あと計画の部分にも触れますけども、ところどころに数値目標が出てきまして、期限がですね、令和9年度、令和12年度、令和13年度というふうに飛び飛びになっておりまして、これはどういう意図なのかというところをですね、丁寧に説明をいただければなと思います。あと、計画の89ページ目の4番の中で、計画の進捗状況の確認とあり、これは大事だなと思いますが、この中で毎年度点検・評価とありますけれども、これは具体的にどのようにやっていくのか、この基本計画策定の審議会などあったかと思えますけれども、そういう方々を中心に点検・評価をやっていくのか、若しくはどういう仕組みでやっていくのかを確認したいと思えます。

最後になりますが、本当に素晴らしい大綱と計画が出来ましたので、これをしっかり学校現場に落とし込んでほしいと、校長、教頭、先生方ですね、こういう根本の部分を常に意識していただきながら、日頃の教育活動をやっていただきたいなと思いますので、その辺の浸透というかですね、周知・広報だけでなく、浸透というのをやっていただくのに加えて、保護者とか地域にも伝えていけるように努力してほしいなと思いますので、その辺についても何かコメントがありましたらお願いします。

#### (教育総務課)

まず各目標の指標についてご説明いたします。具体的には基本計画の88ページ目にいろいろ指標を載せておりますが、基本的にはこの計画につきましては、令和8年度から令和12年度までの5カ年計画になっておりまして、今までの計画ですと、開始年度の令和8年度の現状と5年後の令和12年度の目標値ということで、令和8年度と令和12年度だけをこれまでは載せるような形をしており

ましたが、企画調整課と協議の上、企画調整課が総合計画を運用・実施しております。その総合計画との関連性・相関性を比較したいということで、総合計画の中間確認年度の令和9年度と令和13年度ということで、総合計画とも比較できるように、ちょっとまちまちのような形になるんですが、今回、現状の数値、次は令和9年度で総合計画との整合性のため、次は令和12年度で5カ年計画が終わる最後の時点での目標値、後は令和13年度で総合計画の確認年度ということで比較できるように設定させていただきました。

次に計画の確認ということでございますが、この振興基本計画は5カ年の計画になっておりますので、こちらを基に毎年度改定する目標値を作って事業を執行しております。こちらの事業につきましては、教育行政評価会議という会議がございまして、そちらで委員として外部の方を選任いたしまして、毎年度、奄美市の施策について協議いただいております。こちらにつきましては、しっかり議会の方にも報告しホームページでも公表しているところでございます。こちらにつきましては、しっかり評価を確認いたしまして、次年度以降にしっかり反映できるように、反省点を踏まえて次に活かしているところでございます。

(教育部長)

5ページ目の「<sup>ちいき</sup>地域に根ざしたふるさと教育」を「<sup>シマ</sup>地域に根ざしたふるさと教育」でいいのではないかという質問ですが、これは前回の教育大綱から基本方針として掲げておりますものの継承という意味でそのまま記載しているのですが、委員の皆様でご審議いただき、問題がなければ採用するというので、お預けいたしますのでよろしくお願いいたします。

最後に、学校現場に落とし込む、保護者の皆様と地域への浸透の実現に向けてやっていく取組については、もちろん学校教育課の方でもいろいろと研修の場でも繰り返しやり続けていきたいと思っておりますけれども、親しみやすいような、子ども達でも伝わるような何かしらの資料についてはですね、正直、これを作るのでいっぱいでありましたけれども、これからですね、急ぎ概要版的な資料についてですね、我々も理解を深めるためにも取組をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(教育委員)

せめて、この分だけでも、初年度の校長会や教頭会できちんとやって、それを年度始めの職員会議で、こういう思いでこれが出来ているんだということを職員にやっていく体制をしてほしいなと思っております。これには、教育長の思いも地域の人の思いもしっかり載っているのので、ぜひそれを先生方にも理解してほしいなと思っております。

(総務部長)

教育部長からありました，教育大綱の5ページ目ですね，「<sup>ちいき</sup>地域に根ざしたふるさと教育」を「<sup>シマ</sup>地域に根ざしたふるさと教育」と読むことについて，委員の皆様にご異議はありませんか。

(全委員)

異議なし。

(総務部長)

それでは，「<sup>ちいき</sup>地域」の部分を「<sup>シマ</sup>地域」と読むということをお願いします。

(市長)

やはり「<sup>シマ</sup>地域」という言葉は私達にとって大事な言葉なので，統一してほしいなと思ったところでございます。ちなみにですね，教育大綱の1ページ目「シマウタ」という言葉，これはカタカナで記載されていますけれども，どうでしょうか。

(教育総務課)

こちらも悩んだんですけれども，委員会の中で協議しまして，文化財課助言のもと「シマウタ」と「シマグチ」については全て今回カタカナで，教育大綱と基本計画は統一させていただきました。

(市長)

なるほど，そういうこだわりがあるのでしたら，わかりました。ありがとうございます。以上です。

(総務部長)

他にご意見がなければ，この教育大綱につきましては，地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第2項に，大綱を定め，又はこれを変更しようとするときは，総合教育会議において協議するものとするとあります。今回，この協議を以て，この奄美市教育大綱（案）を令和8年度からの奄美市教育大綱としてよろしいでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(総務部長)

ありがとうございます。それではこの場の合意を以て、令和8年度からの奄美市教育大綱と決定いたします。

(市長)

今回もですね、教育長、教育委員の皆様、本当にありがとうございました。新たな教育大綱、教育振興基本計画の下ですね、様々な教育行政の取組が活発に進んでいくことを心から期待申し上げます。この総合教育会議は年2回程度開催しておりまして、その時々のごく重要なことだったり、あとはまた私自身掲げております、教育・文化・スポーツに関するマニフェストもですね、進捗状況や課題の共有だったりをさせていただいております。今回、私が2期目になりました初めての総合教育会議でしたけれども、また来年度以降もですね、しっかり継続していただいて、2期目のマニフェストは88から123に増やしましたので、教育関係も少し増えておりますので、1期目の成果の確認もしつつですね、また2期目に向けて我々の部局と教育委員会とで、しっかりと連携・協力をしていけるようにやっていきたいと思っておりますので、新年度も引き続きどうかご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。

以上